

## 第4章

# みどりあふれる持続可能なエコタウン

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
411	財務部	管財課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	予算の範囲内で効率的に低公害車の導入を進めた。	R5年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに		
			優先	自治事務	8,294千円	8,294千円	①導入台数	低公害車導入率	公用車の低公害車への入替えが100%となるまでは、新車の更新を定期的に行うことが必要である。	R5目標値が未達成の理由・分析			軽乗用電気自動車(ニッサン サクラEV)1台の導入を行い、二酸化炭素排出の削減に努めた。また、原付バイク6台の売り払いを行い、近隣移動への代替として電動アシスト付自転車の利用促進を行った。			
			根拠法令	所沢市自動車管理規定、環境マネージメントシステム、埼玉県地球温暖化対策推進条例	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②導入実績						R4目標		R4実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			事業の目的及び具体的な内容	良好な環境を将来の世代に引き継ぐことを目的としている埼玉県地球温暖化対策推進条例に基づき、大気汚染防止の観点から低公害車の導入を進めている。	2,836千円	2,352千円	③導入率						R5目標		R5実績	どのように貢献したか
			期間	H13 ~ R6	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	98.5%	98.5%	目標達成済			次世代型自動車の導入も一部行っているが、充電設備への投資の点で方向性を見極めるため情報収集は引き続き行う。令和6年度導入率100.0%達成予定。			
					0.58人	0人	①1台	98.5%	98.5%				環境にやさしい低公害車について、高い導入率を維持している。			
					4,641千円	0人	②133台	R6目標								
		4,687千円	0人	③98.5%	100.0%											
411	福祉部	福祉総務課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	初年度は自動車販売店、福祉施設への周知に努めた結果、2施設3台についての補助金交付へと繋がった。目標到達には、福祉施設への周知を継続していくとともに、有事の際などには電力供給設備としての機能も兼ね備えていることなど、乗車以外での活用方法などを周知していくことも必要であると考え。	R5年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに		
			優先	自治事務	-	-	①自動車販売店への周知	電気自動車等の導入台数によるCO2削減量	ゼロカーボンのシティの実現に寄与することを事業目的としているためCO2削減量を指標とした。目標値は事業者向けの導入意向調査において、導入に前向きな回答があった事業者から積算した予算要求台数を基に算出。	R5目標値が未達成の理由・分析			新規事業であるため、福祉施設のみならず自動車販売店などにもチラシを配布、周知することで当該事業の活用を促した。			
			根拠法令	所沢市福祉施設電気自動車等導入費補助金交付要綱 所沢市マチごとエコタウン推進計画	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②福祉施設への周知						R4目標		R4実績	11 住み続けられるまちづくりを
			事業の目的及び具体的な内容	市内の福祉施設を対象に環境への負荷の低い電気自動車等の普及促進を図るため、電気自動車等の導入に係る経費の一部を助成することにより、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するものである。	2,840千円	503千円	実績									13 気候変動に具体的な対策を
			期間	R5 ~	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	①市内22店舗にチラシ配布及びホームページ	R5目標	R5実績	事業を周知したところ、問い合わせは複数件寄せられたことから、周知は行き届いているものと捉えているが、実際の導入にまで至らなかったため、目標値まで到達しなかった。			令和6年1月に発生した能登半島地震においてライフラインの復旧には日数を要した。入所者等の生活環境を維持する観点において施設の電力確保は課題の一つでもあることから、自動車本来の用途として二酸化炭素排出量削減を図ることは勿論のこと、緊急時における蓄電設備としての電気自動車の活用方法などを周知することでより一層の導入促進に向け努めていく。			
					0.00人	-	②介護サービス事業者等(186施設)に事業の案内、チラシ配布及びホームページ	4,719.96kg-CO2	1,573.32kg-CO2				電気自動車の導入により、CO2排出量が削減され地球温暖化抑制に貢献した。			
					0千円	-		R6目標								
		5,333千円	0人		3,671.08kg-CO2											
411	環境クリーン部	マチごとエコタウン推進課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	家庭用の実績が令和4年度の873件から1,466件と(593件増)大幅に増加したことにより、CO2の削減量は前年度の570t-CO2から732t-CO2と(162t-CO2増)大幅に増え、家庭部門における再生可能エネルギーの導入と省エネを推進できたため。	R5年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに		
			-	自治事務	70,000千円	67,121千円	①家庭用補助金交付	本事業を実施することによるCO2排出削減推定量	住宅のスマートハウス化の推進による市域の二酸化炭素排出量を削減効果を図るため、左記項目を指標とする。	R5目標値が未達成の理由・分析			新たに長期優良住宅を補助対象に加えた。 ・創エネ・蓄エネ機器導入を推進するため、太陽光発電システムと蓄電池の補助金額を増額した。 ・地中熱を普及するため、家庭用の地中熱利用システムを補助対象に加えた。 ・住宅等に初期費用ゼロ円で太陽光発電設備を設置する事業者に設置費用の一部を補助する「初期費用ゼロ円太陽光事業」を始めた。			
			根拠法令	所沢市脱炭素社会を実現するための条例	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②事業用補助金交付						R4目標		R4実績	11 住み続けられるまちづくりを
			事業の目的及び具体的な内容	【目的】所沢市マチごとエコタウン推進計画に基づき、再生可能エネルギー利用設備や省エネルギー設備等を導入する市民及び事業者等に対して、予算の範囲内で、経費の一部を補助し、市域における再生可能エネルギーの導入及びエネルギーの効率的な利用をより一層推進する。 【内容】①家庭用(エコリフォーム、創エネ・蓄エネ機器導入)②事業者用③自治会・管理組合用	188,000千円	149,196千円	③自治会・管理組合用補助金交付						R5目標		R5実績	13 気候変動に具体的な対策を
			期間	H31 ~	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	④初期費用ゼロ円太陽光実施事業者用交付金	増加	570t-CO2	目標達成済			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			
					1.24人	1.25人	実績	増加	732t-CO2				どのように貢献したか			
					9,922千円	0.25人	①1,466件	増加					国の動向や社会情勢、市場価格を把握し、より効果的な補助となるよう工夫しながら進めていく。			
		10,667千円	0.25人	②2件	R6目標			スマートハウス化の推進により、再エネの普及とCO2排出量削減を進め、地球温暖化対策に貢献した。								
				③0件	増加											
				④9件	増加											

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)							
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目								
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4目標					R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析						
411	環境 ク リ ン 部	マチ ご エ コ タ ウン 推 進 課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会 計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	様々な企画やイベント等により、脱炭素社会実現に向けた各主体への取組を促すことができたため。	R5年度に改善した点	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに									
			最優先	自治事務		—	—								①「所沢市脱炭素経営ネットワーク会議」の開催	脱炭素に資する会議、イベント、出前講座の開催数	各主体を巻き込みながら脱炭素の推進を図るため、協同でのイベント実施や啓発活動を指標とする。						
			所沢市からはじめるマチごとゼロカーボン運動事業	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)								②ゼロカーボンをテーマとしたシンポジウムの開催								
				所沢市脱炭素社会を実現するための条例		2,000千円	1,066千円								③市民フェスティバルへ出席した啓発ブースへの来場者数								
				事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								④市民フェスティバルへ出席した啓発ブースへの来場者数								
			期間	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合	実績								—			—	①会議等:5回開催 参加事業者数:延べ約105社・約190人 参加	R5目標	R5実績	目標達成済	11 住み続けられるまちづくりを
			R5 ~	1,60人		0人	②所沢市民文化センター ミュース 来場者:185名								15回			19回	③来場者数:2,517名	R6目標		R5目標値が未達成の理由・分析	13 気候変動に具体的な対策を
12,930千円	0人	④開催:[市内小中学生向け]4回 [市民等向け]8回 受講数:計870名	16回			評価者	マチごとエコタウン推進課長 齋藤 伸宏	どのよう に貢献したか															
											脱炭素社会の実現には市・事業者・市民が一体となって取り組みを進めていく必要があることから、市内事業者の脱炭素経営化を促し、若者を含めた様々なステークホルダーと連携しながら地球温暖化問題について情報発信し、市民のライフスタイルの転換を促していく。	各主体に脱炭素社会実現に向けた現状を知っていただき、行動に移すことを促すことで、環境配慮に貢献した。											
412	市民 部	防犯 交 通 安 全 課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会 計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	改修により、消費電力量を約10.8MWh削減でき、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与した。また、電気使用量を約67万円削減できた。	R5年度に改善した点	13 気候変動に具体的な対策を									
			最優先	自治事務		6,919千円	6,919千円								①LED照明灯に改修した施設数	既存照明灯をLED照明灯に改修した施設数	令和6年4月現在、市営自転車駐車場は31施設ある。事業初年度である令和4年度は水銀灯の設置を中心に14施設の改修を行った。令和5年度からは、令和5年11月の水銀に関する水俣条約第5回締約国会議において、令和9年で一般照明用の蛍光灯の製造・輸出入を廃止することが決定されたことから蛍光灯を順次LED照明灯に改修した施設数を指標とする。						
			市営自転車駐車場照明灯LED化整備事業	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)								②LED化により削減できた電気使用量								
				所沢市自転車駐車場条例		1,540千円	1,540千円								③LED化により削減できた電気料金								
				事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								実績			13施設	14施設	R5目標値が未達成の理由・分析			
			期間	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合	①2施設								2施設			2施設	目標達成済	R5目標	R5実績		どのよう に貢献したか
			R4 ~	0.26人		0人	②約10.8MWh								R6目標					評価者	防犯交通安全課長 足立 啓	二酸化炭素の排出量及び消費電力量の削減が図れた。	
2,081千円	0人	③約67万円	0施設						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	令和5年11月の水銀に関する水俣条約第5回締約国会議において、令和9年で一般照明用の蛍光灯の製造・輸出入を廃止することが決定された。令和6年4月現在、市営自転車駐車場でLED化されていない施設が13施設ある。蛍光灯の製造・輸出入が廃止される前にLED照明灯に改修する必要がある。今後は、令和7年度から10年度に掛けて順次LED照明灯に改修する。													
412	環境 ク リ ン 部	マチ ご エ コ タ ウン 推 進 課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会 計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	市域の再エネ設備の総出力において成果目標を達成しているため。	R5年度に改善した点	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに									
			最優先	自治事務		64,757千円	64,710千円								①電力調達方針に基づき公共施設における環境にやさしい電力の利用推進	市域における再生可能エネルギー設備の総出力	再生可能エネルギー設備の普及推進は脱炭素社会の構築に向けた最も重要な取組みの一つであるため、所沢市マチごとエコタウン推進計画の目標指標ともなっている設備の総出力を指標とする。						
			再生可能エネルギー普及推進事業	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)								②市域における再エネ普及推進								
				所沢市脱炭素社会を実現するための条例		60,861千円	60,542千円								③所沢版RE100の推進								
				事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								実績			R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析			
			期間	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合	①高圧施設107件、低圧施設341件でCO2排出係数の低い電力を調達した。								41.3MW			43.1MW	目標達成済	R5目標	R5実績		11 住み続けられるまちづくりを
			H30 ~	1.14人		0人	②市民向け出前講座や市民向けイベントなどで再生可能エネルギーに関する啓発を行った。								42.5MW			44.7MW		R6目標		R5目標値が未達成の理由・分析	13 気候変動に具体的な対策を
9,122千円	0人	③本庁舎を含む17の施設で、毎月25日に「所沢版RE100の日」を実施した。	50.0MW			評価者	マチごとエコタウン推進課長 齋藤 伸宏	どのよう に貢献したか															
9,293千円	0人									市内の再生可能エネルギーの更なる普及及び環境にやさしい電力の利用促進を図るため、民間企業の新たな技術や手法を取り入れた取組を進める。	市内の再生可能エネルギーの普及を推進することで、市域で排出される二酸化炭素の排出量を削減した。												



計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠					
412	教育総務部	教育施設課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	事業の目標達成に向けて、遅延なく成果が得られている。学校環境の改善を図るため、今後も計画的に事業を進める。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに	
			最優先	自治事務	-	-	①設計実施件数 ②工実施件数	設計の進捗	工事に必要な設計図書の作成の進捗を指標とする。				R5年度に改善した点		
			根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)	R5年度に改善した点									
			-	-	388,903千円	9,350千円	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
			事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	-	-	R5目標値が未達成の理由・分析				どのよう貢献したか		
			本事業は、校舎に設置されている既存照明のLED化を実施し、二酸化炭素の排出削減及び光熱費等の維持管理費の削減を図ることにより、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するものである。	-	会年職員等 0人	①15件 ②0件	R5目標	R5実績					目標達成済		学校や他工事との調整を図りながら、事業を進めていく。
			期間	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		R6目標	設計15件	設計15件	R5目標値が未達成の理由・分析			教室等の照度を適正に維持できるように設計が完了した。		
			R5 ~	0.87人	会年職員等 0人	工事8件	R6実績	工事8件	評価者				教育施設課長 市村 浩昭		
7,030千円	-	-													
412	教育総務部	社会教育課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	契約が、市の財政面において、適正かつ有利に行われたことは、高評価の要因である。今後も関係各課と調整しながら、適正な価格での予算取り及び執行を進める。	R5年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	
			最優先	自治事務	6,615千円	5,500千円	①施設改修工事費 予算額 ②施設改修工事費 契約額	施設改修工事費予算の執行額	執行率の低さを目標とすることは、予算の抑制に繋がる。低すぎる場合は予算額の設定が高いことになり、今後の予算の組み立てを考える上での問題提起の要素の一つとなる。				R5年度に改善した点		
			根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)	R5年度に改善した点									
			地球温暖化対策推進法、所沢市マチごとエコタウン推進計画	121,440千円	0千円	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
			事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	なし	なし	R5目標値が未達成の理由・分析				どのよう貢献したか		
			令和2年11月のゼロカーボンシティ宣言に基づき、一層の再生可能エネルギーの導入及び低炭素化を推進している。その一環として、災害時に現地対策支部となるまちづくりセンター(公民館)において、今回、短期予防保全計画による屋上防水シート改修に合わせ、太陽光発電設備の設置を行うことにより、平常時の再生可能エネルギー活用及び災害時における非常用電源の確保を図る。	0.08人	会年職員等 0人	①121,440,000円 ②111,320,000円	R5目標	R5実績					目標達成済		経年劣化の進む施設について、所沢市公共施設長寿命化を踏まえて今後の維持管理に努め、適正な額で予算を確保し執行する。
			期間	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		R6目標	95.0%	91.7%	R5目標値が未達成の理由・分析			再生可能エネルギーの導入により低炭素化に貢献することになる。また、蓄電池を併設し、災害時における非常用電源を確保することが可能となった。		
			R4 ~ R6	0.13人	会年職員等 0人	95.0%	95.0%	95.0%	評価者				社会教育課長 奥井 祥三		
1,051千円	-	-													
412	教育総務部	社会教育課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	契約が、市の財政面において、適正かつ有利に行われたことは、高評価の要因である。今後も関係各課と調整しながら、適正な価格での予算取り及び執行を進める。	R5年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	
			-	自治事務	0千円	0千円	①設計委託料 予算額 ②設計委託料 決算額	設計委託料予算の執行額	執行率の低さを目標とすることは、予算の抑制に繋がる。低すぎる場合は予算額の設定が高いことになり、今後の予算の組み立てを考える上での問題提起の要素の一つとなる。				R5年度に改善した点		
			根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)	R5年度に改善した点									
			社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則	6,729千円	5,720千円	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
			事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	なし	なし	R5目標値が未達成の理由・分析				どのよう貢献したか		
			老朽化する公共施設について、「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づいて計画的に整備し、施設の安全上適正な管理を図るものである。山口公民館屋上に太陽光設備を設置するための設計業務を委託する。令和5年度に設計し、令和6年度に設備設置工事を施工する。	0.00人	会年職員等 0人	①6,729,000円 ②5,720,000円	R5目標	R5実績					目標達成済		経年劣化の進む施設について、所沢市公共施設長寿命化を踏まえて今後の維持管理に努め、適正な額で予算を確保し執行する。
			期間	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		R6目標	95.0%	85.0%	R5目標値が未達成の理由・分析			再生可能エネルギーの導入により低炭素化に貢献することになる。また、蓄電池を併設し、災害時における非常用電源を確保することが可能となった。		
			R5 ~ R6	0.06人	会年職員等 0人	95.0%	95.0%	95.0%	評価者				社会教育課長 奥井 祥三		
485千円	-	-													

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)															
					会計	投入コスト		活動実績(R5)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目															
						R4予算現額	R4決算額		項目名	指標名					目標設定の考え方・根拠														
412	教育総務部	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①市民体育館R4年度年間電気料 ②市民体育館R5年度年間電気料	電気料削減比率 (当年電気料÷工事前年電気料×100) 市民体育館30年度年間電気料28,145,180円	照明灯をLED化することで、電気料は50%以上の削減が見込めるところではあるが、設置個所のみの電気料が算出できず、館(市民体育館と総合運動場)全体となってしまうため、そのことを考慮し、70%とした。	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	B	LED化したことで照度が上がり、市民が安全にスポーツを楽しめる環境整備と同時に省電力化による環境配慮を促進した。	R5年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに			
			重要	自治事務		6,312千円	6,312千円																		実績		70.0%	103.3%	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			根拠法令	スポーツ基本法、所沢市体育施設設置及び管理条例		6,312千円	6,312千円																		①29,086,967円		70.0%	97.1%	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容		0.07人	0人																		②27,320,115円		70.0%		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			期間	所沢市民体育館、地区体育館の照明として水銀灯が使用されていたが、LED化することで照度を上げ、利用者の利便性を図ると共にCO2排出量の削減及び光熱費等維持管理の縮減を図った。		560千円	0人																						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			H30 ~			0.00人	0人																						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
						0千円	0人																						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
																													事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
																													事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
																													事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
412	教育総務部	所沢図書館	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①営繕課へ工事施工依頼 ②設計完了検査日	設計完了	R5の目標は、設計が完了することである。	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	A	2050年度のゼロカーボンシティの実現に向けた取組として、所沢図書館本館内の照明をLED化する工事を計画し、R5年度は設計業務を行った。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに			
			最優先	自治事務		8,289千円	7,645千円																		実績		—	—	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			根拠法令	図書館法、所沢市立所沢図書館設置条例、同施行規則		—	0人																		①令和5年8月		設計完了	設計完了	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容		—	0人																		②令和6年2月14日		設計完了	設計完了	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			期間	図書館本館の全照明をLED化し、あわせて高天井の落下防止工事を実施する。利用者の利便性及び安心・安全を確保するとともに、水銀による環境汚染・健康被害の防止と消費電力の抑制による温室ガス排出削減を図る。		0.06人	0人																						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			R5 ~	R5 工事設計 R6 工事施工		485千円	0人																						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
																													事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
																													事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
																													事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
																													事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
413	建設部	道路建設課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①市道1-900号線改良舗装工事(改良整備延長)	埼玉県、清瀬市と共同で行う橋りょう改築と合わせて接続する周辺道路整備に係る工事計画に対する進捗率。	橋りょうの改築にあたり、各年度で計画した業務がどれくらい進捗できたかで評価する。	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	A	成果指標の目標を達成している。	R5年度に改善した点	13 気候変動に具体的な対策を			
			最優先	自治事務		288,308千円	277,334千円																		実績		100.0%	100.0%	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			根拠法令	道路法、河川法、土地収用法		75,000千円	69,111千円																		①令和5年7月3日着工 令和6年3月27日完了 計画延長278.961m 実施延長82.9m		100.0%	100.0%	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容		1.71人	0人																						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			期間	本市を流域に持つ柳瀬川については、埼玉県が河川整備を進めている。しかし、東川との合流点前後区間は、所沢市と清瀬市が管理者である清柳橋が妨げとなり、これまで進めてきた柳瀬川と東川の河川整備の効果が十分に発揮できない状況である。このため、今後の浸水被害の軽減を図るために、道路管理者である所沢市と清瀬市及び河川管理者である埼玉県とともに当該橋りょうの改築を進めるとともに、接続する市道1-900号線の道路改良工事に取り組むものである。		13,683千円	0人																						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			H30 ~			0.72人	0人																						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
						5,818千円	0人																						事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
																													事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
																													事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
																													事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠					
421	環境 クリーン部	みどり 自然課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	ふるさとのみどり啓発事業と生きもの子どもが会おう森づくり事業を統合し、令和6年度より生きもののみどり啓発事業としてスタートした。みどりのふれあいウォークは天候に恵まれず参加者数が伸びなかったものの、甲虫類を繁殖させるためのプールは所定数を設置できた。	R5年度に改善した点	15 陸の豊かさを守ろう	
			重要	自治事務	3,479千円	3,210千円	①みどりのふれあいウォーク参加人数	みどりのふれあいウォーク参加人数	生きもののみどり啓発事業の中核を担う事業として、市内住民のみならず、西武鉄道沿線等の近隣からも参加する一大イベントであることから、参加人数を指標とする。なお、令和元年度以降は、実情に即し毎年2,000人を目標とすることとした。	R5年度に改善した点 ふるさとのみどり啓発事業については、市民が参加したくなるようなイベントにするために内容の見直しを振り、生きもの子どもが会おう森づくり事業については、小学校の学習林に設置できるように小学校と交渉するなど、目的達成に向けて様々な取り組みを行った。					
			根拠法令	事業の目的及び具体的な内容	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②みどりのカーテンコンテスト応募数						R4目標		R4実績
			ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例、所沢市緑の基金条例	本市のブランドである豊かなみどりの保全のため、「みどりのふれあいウォーク」や環境展示会等を開催し市民の理解と意識の向上を図るほか、イベントの際に緑の募金運動を実施し、参加者から寄附金を募る。また、「みどりのカーテン」による省エネと緑化を推進するため、朝顔とゴーヤの種子袋を配布し、みどりのカーテンコンテストを開催する。さらに、自然や生きものへの親しみや関心を高めるため、カブトムシ等の昆虫類を繁殖するための落ち葉プール等を設置し、虫取りや観察などの場を提供する。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	③落ち葉プール設置か所数	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析					
			1.95人	0人	実績	2,000人	1,363人	当日の天候は曇りで風も吹き肌寒く行楽日和には程遠かったため、ウォーキングイベントの実施には不向きであったことから、参加者数が伸びなかったものと思われる。	R5目標	R5実績					
			15,604千円	0人	①1,101人	2,000人	1,101人								
			期間	H18 ~	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	②26件	R6目標							
			3.25人	0人	③5か所	2,000人									
			26,263千円	0人											
			評価者	みどり自然課長 加賀屋 浩介											
事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう貢献したか														
緑の創出、生物多様性保全の意識醸成に寄与した。															
422	環境 クリーン部	みどり 自然課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	目標は達成している。更なる事業推進のため、目標である登録人数を増やすことはもとより、活動そのものの活性化を図れるよう、連絡会の開催に向けて検討を開始した。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを 15 陸の豊かさを守ろう 17 パートナリシップで目標を達成しよう	
			重要	自治事務	8,240千円	7,486千円	①講座の開催回数(指導員派遣含む)	みどりのパートナー登録者数	みどりのパートナー登録者の増加が、みどりの保全及び創出につながることから、登録者数を指標とする。	R5目標値が未達成の理由・分析					
			根拠法令	事業の目的及び具体的な内容	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②パートナー登録団体数						R4目標		R4実績
			ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例、所沢市みどりのパートナー活動実施要綱、所沢市みどりのパートナー活動支援事業補助金交付要綱	本市のみどりをより豊かにする市民活動を推進するため、みどりの保全及び緑化の推進に関して自発的かつ実践的な活動を行う個人又は団体を「みどりのパートナー」として登録し、このパートナーに対して情報の提供や緑化資材の助成等、育成・支援等を行う。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	③みどりのパートナー活動補助金額	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析					
			0.85人	0人	実績	1,410人	1,517人	目標達成済							
			6,802千円	0人	①8回	1,415人	1,659人								
			期間	H24 ~	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	②63団体	R6目標							
			0.70人	0人	③4,657千円	1,420人									
			5,657千円	0人											
			評価者	みどり自然課長 加賀屋 浩介											
事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう貢献したか														
令和5年度より課題解消に向けて、育成支援内容の見直しを行っている。見直した育成支援内容を実施に移し、当初の目的を達成させる。加えて、連絡会を開催し情報共有等を図っていく。	講座を通じた環境教育の実施、官民のパートナーシップによるみどりの保全と創出を通じた自然環境の確保を行った。														
422	環境 クリーン部	みどり 自然課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	補助金の執行率は98.8%であり目標は達成できたと考える。	R5年度に改善した点	15 陸の豊かさを守ろう	
			最優先	自治事務	-	-	①伐採本数	補助金執行率	補助金交付により私有地の倒木等の危険除去及び樹木減少低減を図ることを目的としているため、補助金の執行率を指標とする。	R5目標値が未達成の理由・分析					
			根拠法令	事業の目的及び具体的な内容	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②伐採費用補助額						R4目標		R4実績
			所沢市ナラ枯れ被害木等伐採及び植樹補助金交付要綱	私有地でナラ枯れ被害により枯死した樹木の倒木又は落枝の危険性に鑑み、市民生活を守るため枯死木の伐採費用に対して所定の補助を行い、併せて、伐採により減少した樹木を補うため植樹の費用に対しても補助を行う。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	③植樹費用補助額	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析					
			-	0人	実績	-	-	目標達成済							
			-	0人	①61本	90.0%	98.8%								
			期間	R5 ~	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	②4,556千円	R6目標							
			0.30人	0人	③305千円	90.0%									
			2,424千円	0人											
			評価者	みどり自然課長 加賀屋 浩介											
事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう貢献したか														
令和5年度に行った補助によりある程度の危険な支障木の伐採は行われたものの、まだまだ危険な支障木は残っている。目的を達成するため引き続き所有者に対して案内を行っていく。	枯死木の伐採と同数の植樹を行い、森林の回復に寄与した。														





計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)								
					会計	投入コスト		活動実績(R5)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目								
						R4予算現額	R4決算額		項目名	指標名					目標設定の考え方・根拠							
423	環境 グリーン部	みどり 自然課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	C	補助金制度は、所有者から一定の評価は得ているが、管理には補助対象外の経費も伴う。このため管理に伴う所有者負担が大きいことなどから、指定登録予定数に至らないばかりでなく、登録が解除され、伐採される場合がある。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを								
			重要	自治事務		3,368千円	842千円								①保存樹木管理の補助件数	ふるさとの樹の指定本数	本事業中、最も希少価値の高い、ふるさとの樹の本数を指標とした。					
			根拠法令	事業の目的及び具体的な内容		R5予算現額	R5決算額(見込み)								②保存樹林管理の補助件数							
						ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例、所沢市保存樹木等支援事業補助金交付要綱	3,231千円								677千円			③ふるさとの樹管理の補助件数				
						R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								R4目標			R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析			
			期間	市街地やその周辺のみどりの永続的な保全を図るため、保存樹木等に対する損害賠償責任保険への加入や保全管理費用の助成による所有者への支援を行う。また、保存樹木等の指定制度について市民に周知し、新たな保存樹木等の指定を行うとともに、市民の保存樹木等の保全に対する関心を高める。		0.90人	0人								実績			50	29			
						7,202千円	0人													R5目標	R5実績	適用範囲(市街化区域及びその周辺区域)が狭く、対象となる樹木に限られ、新規登録が難しい。また、現在指定されている樹木も、所有者の高齢化等により維持管理が困難となり、解除する指定木もある。
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合													50	28	
			0.45人	0人		R6目標																
			H27 ~			3,636千円									50							
423	環境 グリーン部	みどり 自然課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	S	グリーンカーベット促進事業とみどりの街並み創出事業を統合し、令和6年度よりみどりの創出事業としてスタートした。公立保育園に植えた芝生は管理を通じて概ね安定している。また、市内各所の施設に対しては所定の球根を配布することができた。さらに、市民に向け花苗と苗木を市民フェスティバルにて配布することができた。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを								
			重要	自治事務		1,257千円	1,201千円								①イベントにおける花苗配布数	イベントにおける苗木配布数(R4年度までは、球根配布施設数としていたが、事業統合による指標の見直しを図った)	街や住宅におけるみどりの創出と、市民の意識の高揚を図るため、イベントにおける苗木の配布数を指標とした。					
			根拠法令	事業の目的及び具体的な内容		R5予算現額	R5決算額(見込み)								②芝生維持管理実施園数							
						ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例、所沢のみどりの基本計画	1,154千円								1,061千円			R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析		
						R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								実績			46施設	45施設			
			街中における生物生息空間の保全・再生・創出を推進するため、公共施設の新規整備や改修等にあたり、公共施設ガイドラインに基づく緑化指導を行うほか、芝生化した園庭の芝生の維持管理を行う。また、市民に花苗や苗木を配布し、エコロジカルネットワークの形成やみどりへの意識向上を図る。	1.50人		0人	R5目標													R5実績		
			R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		①696ポット	100本													100本	目標達成済	
			期間			1.10人	0人								R6目標							
			H11 ~			8,889千円									100本							
			423	環境 グリーン部		みどり 自然課	実施計画ランク								事業の種類別			一般 会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名
最優先	自治事務	5,200千円			4,997千円		①在来種の植樹本数	整備箇所数	事業用地の調査・検討、借借契約、設計・工事委託、開設等の事務を経て、年に一か所の整備を目標とする。													
根拠法令	事業の目的及び具体的な内容	R5予算現額			R5決算額(見込み)		②雨水浸透施設の設置															
		所沢のみどりの基本計画、所沢市マチごとエコタウン推進計画			5,200千円		4,730千円			R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析										
		R4正規職員人件費			R4その他職員従事割合		実績			1か所	1か所											
まちなかの低未利用地について、市民の憩いの場を整備するとともに、みどりの貴重なまちなかの動植物の生息、生育地を創出するものである。また、整備により無秩序な開発の抑制、良好なまちなみ景観や生活環境の形成、生物多様性への貢献、ヒートアイランド現象等の環境負荷の低減、雨水流出の抑制等が期待できるものである。	0.90人	0人			R5目標							R5実績										
R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①46本			1か所							2か所	目標達成済									
期間		0.90人			0人		R6目標															
R3 ~		7,273千円					1か所															





計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)											
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目											
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠																
423	建設部	河川課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①取得面積	取得面積	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	C	用地を取得できなかったため。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを 13 気候変動に具体的な対策を										
			優先	自治事務		0千円	0千円								R5予算現額		R5決算額(見込み)	R5実績	R5実績							
			根拠法令	根拠法令		577千円	192千円																			
			土地収用法	事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								0.00人		0人	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5実績	R5実績					
			みどり映える水辺保全用地取得事業	河川や水路の自然河岸が洗掘等により崩れるなどした場合、これまででは護岸の整備により治水対策を行ってきたが、工事により河畔林等の貴重な自然が失われることがあった。本事業は、治水と生物多様性の環境保全を両立するため、護岸の整備に替えて用地を取得することにより、自然河岸を後世に残し、みどり豊かな水辺を保全するものである。		0千円	0人																			
			期間	R5 ~		0.50人	0人								4,041千円		0人	①0㎡	0㎡	0㎡	0㎡	対象地の不動産鑑定を行い、相手方に価格を提示したが、交渉が不調となり用地の取得に至らなかった。				
																									事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
																									事業の目的や価格の算出方法などを、相手方に丁寧に説明し、ご理解いただけるように努める。	護岸の工事を行わないことにより、自然河岸を残すことにつながる。
													評価者	河川課長 遠山 秀仁												
431	環境クリーン部	資源循環推進課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①集団資源回収量	集団資源回収率(集団資源回収量/家庭ごみ量×100)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	B	世界最大の資源物輸入国である中国の輸入規制に加え、世界的な新型コロナウイルス流行の影響で、リサイクル業界は依然として厳しい状況に置かれている。加えて市内での資源物の持ち去り等の事業も発生しており、従来の啓発活動だけでなく、事業を存続させる対策が必要である。	R5年度に改善した点	12 つくる責任 つかう責任										
			重要	自治事務		65,100千円	53,793千円								R5予算現額		R5決算額(見込み)	R5実績	R5実績							
			根拠法令	根拠法令		60,000千円	49,964千円																			
			廃棄物の処理及び清掃に関する法律、所沢市集団資源回収事業報償金交付要綱	事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								0.46人		0人	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5実績	R5実績					
			集団資源回収報償金交付事業	集団資源回収事業実施団体(自治会・町内会、子ども会等)が資源物(新聞、雑誌・雑がみ、段ボール、古布、アルミ缶・スチール缶、紙パック、生きびん)を集団資源回収事業取扱業者に引き渡す活動に対し、市は資源物1kgあたり6円(生きびんは1本当たり6円)の報償金を交付し、ごみの減量と資源化の推進を図る。		3,681千円	0人																			
			期間	H3 ~		0.41人	0人								3,313千円		0人	① 8,327t	13.0%	11.1%	13.0%	11.3%	新型コロナウイルス感染症拡大による活動自粛や少子高齢化による団体の解散等により、資源物の回収量が減少した。			
																									事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
																									資源物の持ち去りについては、古紙回収業者とも連携して警備等を行い、市民が安心して古紙を出せるように対応を行う。	家庭で使用した古紙類を再資源化することで、廃棄物の減量に貢献した。
													評価者	資源循環推進課長 山屋 貴裕												
431	環境クリーン部	資源循環推進課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①粗大ごみ収集点数	再生家具の展示点数	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	A	不要になった綺麗な家具はインターネットで簡単に取引出来るようになってきているので再生出来るような家具の搬入が減ってきている中で、頒布出来る再生家具に修繕し目標点数を上回っている。	R5年度に改善した点	13 気候変動に具体的な対策を										
			重要	自治事務		17,883千円	15,216千円								R5予算現額		R5決算額(見込み)	R5実績	R5実績							
			根拠法令	根拠法令		17,752千円	16,284千円																			
			廃棄物の処理及び清掃に関する法律	事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								5.51人		6人	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5実績	R5実績					
			粗大ごみリユース推進事業	市民サービスの向上とリユースの推進を図るため、東西クリーンセンターにおいて実施していた粗大ごみ収集事業をリサイクルふれあい館において一元化し、「もったいないの心」推進事業の一環として実施していた「再生可能な家具の回収業務」も付加することにより、粗大ごみの収集から再生・頒布、廃棄までを一体的に行う。		44,091千円	6人																			
			期間	H29 ~		5.13人	6人								41,456千円		6人	①26,793点	1,700点	1,798点	1,770点	目標達成済				
																									事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
																									東部クリーンセンターへの再生家具の回収量について、さらなる確保を依頼していく。	ごみとして処分される家具類を資源としてリユース・リサイクルをし市民に還元出来、地球温暖化防止に貢献した。
													評価者	資源循環推進課長 山屋 貴裕												

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目		
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4目標					R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
431	環境ク リーン部	資源 循環 推進 課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	粗大ごみの搬入量が減少していることは、ごみ自体が減少していることなので良いことだが、リユース、リサイクルの観点からみると成果が出せていない。	R5年度に改善した点	13 気候変動に具体的な対策を			
			重要	自治事務		9,979千円	8,876千円	①再生家具頒布申込者数	再生家具頒布申込者数	再生家具頒布申込者数 東所沢エコステーション利用者数 不用品登録者数			「もったいないの心推進事業」において、再生家具の申込者、資源物の持ち込み者数などを数値化することにより、わかりやすい設定と考える。数値の根拠は、前年度の実績をもとに算出している。		R5年度に改善した点		
			もったいないの心 推進事業	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)	②東所沢エコステーション利用者数	R4実績						R5実績	R5目標値が未達成の理由・分析	東部クリーンセンターからリサイクルふれあい館へ搬出される粗大ごみの量が格段に増加した。
				事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	③不用品登録者数									R5正規職員人件費
				「もったいない心」を大切に、ごみの減量・資源化に取り組むとともに、循環型社会の形成のための3Rのひとつであるリユース及びリサイクルを暮らしに定着させる。 ①再生家具：粗大ごみとして排出された木製家具を手直しした後、館内で展示のうえ抽選で月2回頒布。小型家具については常設頒布。②東所沢エコステーションにて市民から持ち込まれる資源物を受け付けている。③不用品登録：「もとめます」「ゆずります」として登録された品物の情報提供		1.00人	5.35人	実績		24,000人			22,594人				市民から回収依頼があり、粗大ごみとして回収された家具等で、再生可能な品が減っている。
			期間	H15 ~		8,002千円	5.35人	①小型家具 907人 大型家具 5,593人	R5目標	R5実績			参考：R4 1,717点 R5 1,501点		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
						1.25人	5.35人	②15,362人	R6目標						どのよう貢献したか		
		10,101千円	5.35人	③6人	R6実績			家具類をごみとして処分するのではなく、貴重な資源としてリユース、リサイクルを行うことにより、地球温暖化防止に貢献した。									
431	環境ク リーン部	資源 循環 推進 課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	新型コロナウイルス感染症の終息に伴い、3R講習会や各種イベントが再開され、昨年に比べ参加者数が格段に増加した。しかしながら、家具類の回収量が減少していることから、家具の再生方法を工夫し、頒布数が増加するように、家具類の確保に努める必要がある。	R5年度に改善した点	13 気候変動に具体的な対策を			
			重要	自治事務		5,627千円	5,776千円	①リサイクルふれあい館及び東所沢エコステーション来館者数	リサイクルふれあい館の来館者数は、正面玄関の自動ドアカウンターによる。講習会参加者数は、3R講習会、包丁研ぎ講習会、生ごみ減量講習会による。	啓発施設であるリサイクルふれあい館及びリユース、リサイクル品の引き取り場所である東所沢エコステーションについて、一人でも多くの市民に施設の存在を知ってもらい、活用していただくことが目的であることから実績を基にしている。			R5年度に改善した点				
			もったいないの心 啓発事業	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)	②講習会参加者数	R4目標	R4実績			R5目標値が未達成の理由・分析		新型コロナウイルス感染症の終息に伴い、各種講習会、講座を拡大し、参加者の増大につながっている。		
				事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	60,000人	63,388人			目標達成済		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
				①小学4年生社会科見学等見学者の印象に残る館内展示(遊び心を取り入れた)わかりやすい解説で環境学習を充実する。②催事の企画開催(エコロまつり、エコロ市、出張エコロ市)等による市民へのPR事業。③市民フェスティバル等への積極的参加によるPR活動。④館内展示のほか、ホームページや情報誌発行による情報提供の研究。⑤暮らしの中で3R(Reduce/リデュース=発生抑制、Reuse/リユース=再利用、Recycle/リサイクル=再生利用)を実践するための場として、おもちゃの病院や傘修理、各種講座等の開催。		0.90人	1.05人	①64,536人	R5目標	R5実績					どのよう貢献したか		
			期間	H15 ~		7,202千円	1.05人	②448人	R6目標						各種講習会の講師をボランティアの方が受け持ってくださっているが、徐々に高齢化してきているので、ボランティアの方同士で勉強会を行い、技術の伝承をしてもらっている。		
						1.00人	1.05人		R6実績						多くの市民に3Rについて知ってもらうことで、市民一人一人の環境意識の向上に貢献した。		
		8,081千円	1.05人		60,000人												
432	環境ク リーン部	資源 循環 推進 課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	生ごみ処理機奨励金については、関心が高まっているため、今後制度を整備していく必要がある。	R5年度に改善した点	13 気候変動に具体的な対策を			
			優先	自治事務		7,637千円	5,359千円	①生ごみ減量講習会開催数及び参加者数	生ごみ減量講習会参加人数及び水切りダイエット配布人数及び生ごみ減量化・資源化推進奨励金交付人数	生ごみの約7割から8割は水分と言われている。家庭から出る生ごみの水分を少なくしてもらうよう、生ごみ減量講習会を開催し、各家庭で実践してもらおう。またイベント等で水分を取る器具(水切りダイエット)を配布して、生ごみ減量の周知を図る。更に生ごみ処理機奨励金を交付することで生ごみの減量に高い意識を持ってもらう。			R5年度に改善した点				
			チャレンジ生ごみ 減量推進事業	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)	②水切りダイエット及び生ごみ減量化・資源化推進奨励金交付人数	R4目標	R4実績			R5目標値が未達成の理由・分析		新型コロナウイルス感染症の終息に伴い、生ごみ減量講習会の開催回数を増やした。		
				事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	③生ごみ減量化・資源化推進奨励金交付人数	R5目標	R5実績			目標達成済		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
				本事業は、家庭から出る燃やせるごみの約4割といわれる生ごみを減量するため、家庭で簡単にできる生ごみ処理の方法について普及啓発を図り、購入金額の3分の2、20,000円を限度に奨励金を交付する。さらに、イベント等を通じて生ごみ削減の啓発品やチラシを配布する。		0.55人	0人	実績	5,000人	5,134人					どのよう貢献したか		
			期間	R4 ~		4,401千円	0.1人	①3回 16人	R6目標						生ごみ減量講習会について、多くの参加を得られるよう講座内容の見直しや、さらなる周知の徹底に努めていく。		
						0.72人	0.1人	②6,617人	R6実績						水切りダイエット、生ごみ処理機を使用してもらうことで生ごみの水分を減らし、ひいては減量につながっている。		
		5,818千円	0.1人	③171人	4,500人			また、生ごみ処理機の普及を図るため、奨励金の確保に努めていく。									





計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4目標					R4実績
433	環境 クリーン部	収集 管理 事務所	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	燃料費高騰や鉄等の資材高騰が続いているため、省燃費につながるようエコドライブを心掛けると共に、車両修繕を減らすため始業点検やこまめなグリスアップを行うなど、車両の延命を図り経費削減に努めていきたい。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを	
			重要	自治事務		86,430千円	72,084千円	①年間ごみ収集量	1トンあたりの収集経費 年間経費÷年間ごみ収集量	生活ごみの効果的な収集を目的としているので、1トンあたりの収集に係る経費を指標とする。目標値としては、前年度を下回ることを目標とした。	R5年度に改善した点					
			根拠法令	自治事務		R5予算現額	R5決算額(見込み)							②年間経費		R4目標
				所沢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例		64,920千円	62,442千円	実績	22,221円/t	23,635円/t	職員人件費の増に加え、燃料費の高騰や、鉄等の資材が高騰したことで車両修繕費が増額したため。					
				事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	①17,641t	23,635円/t	26,833円/t				R6目標		R5実績
				市民の生活ごみとして、ごみ集積所に排出された廃棄物の適正処理及び再資源化により、公衆衛生環境の向上及び循環型社会の確立を実現するため、ごみの分別を徹底し、効率的に収集を行う。また、これに伴うごみ集積所の設置・維持管理についての指導及び清掃車両の整備並びにごみ集積所情報管理システムの運用管理を行う。		46.17人	1.05人	②473,361千円	26,833円/t							
			期間			R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合									
						50.85人	5人									
			S26	～		410,919千円										
			433	環境 クリーン部		収集 管理 事務所	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会計	R4予算現額	R4決算額			項目名		指標名
重要	自治事務	1,471千円			1,226千円		①年間利用世帯数	年間利用世帯		当制度について周知・啓発し、利用拡大を図るため、年間利用世帯数とする。目標としては、年間利用予定世帯数を目的とした。	R5年度に改善した点					
根拠法令	自治事務	R5予算現額			R5決算額(見込み)							②年間利用予定世帯数	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	
	所沢市ふれあい収集実施要綱	1,099千円			1,022千円		実績	750世帯		742世帯	施設入所や家族との同居または逝去等の理由により、利用開始した世帯よりも終了した世帯が多かったため。					
	事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費			R4その他職員従事割合		①736世帯	750世帯		736世帯		R6目標	R5実績			
	高齢又は障害等により、家庭から排出するごみを自らごみ集積所に出すことが困難な市民の生活環境の向上及び安全確保のため、当該事業利用者宅の戸口において直接ごみの収集を行う。さらに、希望者には、声かけを行い安否確認を行う。	6.18人			0.3人		②750世帯	750世帯								
期間		R5正規職員人件費			R5その他職員従事割合											
		6.25人			0人											
H17	～	50,506千円														
433	環境 クリーン部	収集 管理 事務所			実施計画ランク		事業の種類別	一般 会計		R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A
			重要	自治事務	876,920千円	876,920千円	①ごみ収集量		民間事業者への委託割合 委託地区の世帯数/市内の全世帯数	市民生活の生活環境の保全と公衆衛生の向上を図るため、安定的な収集運搬体制を確保する必要がある。また、現業職員不補充であり、計画的に委託拡大を図ることが重要であることから、委託割合を指標とした。	R5年度に改善した点					
			根拠法令	自治事務	R5予算現額	R5決算額(見込み)						②収集稼働日数	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	
				廃棄物の処理及び清掃に関する法律、所沢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	884,235千円	884,235千円	実績		70.0%	70.0%	目標達成済					
				事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	①41,430t		70.0%	70.0%		R6目標	R5実績			
				将来にわたり安定した収集体制を維持するため民間委託し、市民生活の生活環境の保全、公衆衛生の向上を図る。市民が年間ごみ日程表に基づき委託地区内のごみ集積所に出したごみを委託業者が収集し、東部・西部クリーンセンター等に運搬する。	2.00人	0.3人	②257日		70.0%							
			期間		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合										
					2.05人	0人										
			H17	～	16,566千円											





計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)						
					会計	投入コスト		活動実績(R5)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目						
						R4予算現額	R4決算額		項目名	指標名					目標設定の考え方・根拠					
442	環境クリーン部	環境対策課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	計画どおり立入検査を実施したため。	R5年度に改善した点	12 つくる責任 つかう責任						
			重要	自治事務		1,488千円	1,606千円	①立入計画事業所数	計画実施率 立入検査を行った事業所数/立入計画事業所数×100	定期的に立入検査を行うことにより、事業所の水質規制遵守への関心の向上並びに意識低下の防止が期待されるため、計画実施率を指標とする。			R5年度に改善した点	14 海の豊かさを守ろう						
			根拠法令	水質汚濁防止法、埼玉県生活環境保全条例		R5予算現額	R5決算額(見込み)								②立入検査を行った事業所数	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析		
			事業の目的及び具体的な内容	排出水の状況や施設の管理状況など、法令に基づき、その遵守状況を確認する。 ①検査計画の作成②対象事業所への立入検査の実施③採水した水質・施設の稼働状況・自主測定結果について規制基準との適合状況の確認④規制基準に適合しない事業所等への改善指導。また、立入検査により各事業所から公共用水域へ排出される汚濁物質を削減し、水質汚濁を防止する。		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	100.0%	100.0%			目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み						
			期間	S62 ~		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①51事業所	100.0%	100.0%				R5目標	R5実績					
			9,122千円	0人		②51事業所	R6目標	100.0%	100.0%	R6実績				どのよう貢献したか						
			0.89人	0人		7,192千円	0人							事業所によっては、排水に詳しい担当者常駐していないこともある。原則は抜き打ちであるが、状況に応じて事業所に連絡を取る等、立入検査を計画的に実施できるようにしたい。	各事業所からの公共用水域への水質汚濁を防止することにより、直接的なSDGsへの貢献につながった。					
			0.89人	0人										評価者	環境対策課長 三浦 直子					
			442	環境クリーン部		環境対策課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額			R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	埼玉県及び所沢市が定めた公共水域測定計画に基づき、市内主要河川の水質と河川の底質の評価を行うこと、また、河川の汚濁状況を監視し、水質汚濁防止法に係る施策のための基礎資料を得ることを事業の目的としているため、その実施項目率を指標とする。	R5年度に改善した点	6 安全な水とトイレを世界中に
							重要	法定受託事務+附加		6,629千円			6,286千円	①測定項目	実施項目率 測定項目/計画項目×100	R4目標			R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
根拠法令	水質汚濁防止法	R5予算現額			R5決算額(見込み)		②測定地点	100.0%		100.0%	R5目標	R5実績								
事業の目的及び具体的な内容	埼玉県および所沢市が定めた公共用水域水質測定計画に基づき、pHなどの生活環境項目、カドミウムなどの健康項目等について、市内主要河川の水質と河川底質の調査を行う。 また、市内主要河川の水質と河川底質(川底の泥)の環境基準項目等を中心として、河川の汚濁状況を監視し、水質汚濁防止に係る施策の基礎資料を得ることを目的とする。	R4正規職員人件費			R4その他職員従事割合		実績	100.0%		100.0%	目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み								
期間	S62 ~	R5正規職員人件費			R5その他職員従事割合		①88項目	100.0%		100.0%		R6目標	100.0%							
0.49人	0人	3,921千円			0人		②13地点・年12回						どのよう貢献したか							
0.29人	0人	2,343千円			0人							河川工事や植物の光合成による突発的なBOD、pHの値の上昇が見られる。生活排水由来の水質汚濁も考えられることから、採水時以外も河川状況の把握に努める。	市内主要河川の水質などを測定・監視することにより、環境施策の参考になった。							
0.29人	0人											評価者	環境対策課長 三浦 直子							
442	環境クリーン部	資源循環推進課			実施計画ランク		事業の種類別	一般会計		R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	C	申請の相談を受けるが、放流先が無断断念するケースもある。また、補助を受けても費用負担が少なくなく、現状の単独槽でも問題なく生活出来ており、必要性を感じていないケースも多い。			R5年度に改善した点	6 安全な水とトイレを世界中に
					重要		自治事務			6,240千円	666千円	①補助金交付	補助金交付件数	当市の近年の申請数に照らし合わせると妥当と考えられる。					R4目標	R4実績
			根拠法令	循環型社会形成推進交付金交付要綱 所沢市浄化槽整備事業補助金交付要綱	R5予算現額	R5決算額(見込み)	②広報		10件	1件	R5目標						R5実績			
			事業の目的及び具体的な内容	浄化槽整備の費用について補助金を交付することにより、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与するためである。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績		10件	1件	R5目標	R5目標値が未達成の理由・分析								
			期間	H5 ~	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①0件		10件	0件		R6目標	10件							
			6,402千円	0人	②補助要件を満たすであろう世帯88件のポスティング及びHPにて周知	R6実績	10件					どのよう貢献したか								
			0.70人	0人	5,657千円	0人						転換の希望があっても放流先が確保できない等補助要件を満たせない場合がある。また、設置工事に係る使用者の負担が大きいため、申請が無かったものと考えられる。	補助を望んでも放流先の確保がない事業は解決できない。ポスティング対象地区を変え、広報を行う。	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生が向上した。						
			0.70人	0人								評価者	資源循環推進課長 山屋 貴裕							

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
					会計	投入コスト		活動実績(R5)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目			
						R4予算現額	R4決算額		項目名	指標名					目標設定の考え方・根拠		
442	建設部	河川課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	河川課長 遠山 秀仁	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを			
			重要	自治事務		54,352千円	50,060千円								①維持管理(清掃) ②要望・通報件数 ③改修・整備工事	要望・通報処理件数	維持管理の成果を測るには、要望の大部分を占める除草や清掃への対応件数を指標とすることが適しているため。
			根拠法令	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)										
						54,157千円	48,327千円								R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
			事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	実績								250件	302件	目標達成済
			1、河川の氾濫による浸水被害等の防止を図るため、改修・整備を行う。 2、パトロールや市民等の要望により、清掃・除草および修繕等を行う。 3、地域に根付く川づくりを目指し、維持管理の一部を委託する。 4、「水辺のサポーター制度」事業の推進。	5.00人		0人	R5目標								R5実績		
				40,010千円		0人	250件								332件		
				R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合	①2,233m ②332件 ③454.95m								R6目標		
期間		5.25人	0人	R6実績													
S25 ~		42,425千円	0人	250件													
444	環境クリーン部	環境対策課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	環境対策課長 三浦 直子	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを			
			重要	自治事務		4,068千円	3,312千円								①苦情相談対応件数 ②苦情相談解決件数	苦情相談解決率(解決件数/対応件数×100)	苦情については、100%解決が望ましいが、解決が長期化する案件もある。また、年度末に受付した苦情については、翌年度に繰り越さざるを得ないこともあるため、現実的な目標としている。
			根拠法令	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)										
			公害紛争処理法	公害等苦情相談事業		4,630千円	3,790千円								R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
			事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	実績								94.4%	98.7%	目標達成済
			騒音、振動、悪臭をはじめとする各種公害に係る苦情相談を電話・メール・窓口等を通して受け、苦情発生源の調査、指導、助言等を行い解決を図る。	1.62人		1.7人	R5目標								R5実績		
				12,963千円		1.7人	94.7%								100.0%		
				R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合	①91件 ②91件								R6目標		
期間		1.89人	1.7人	R6実績													
S47 ~		15,273千円	1.7人	95.0%													
444	環境クリーン部	生活環境課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	生活環境担当 浅見 仙隆	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを			
			重要	自治事務		8,730千円	8,032千円								①ごみ回収実績 ②参加人数	環境美化活動における参加人数	世帯数×3割×1回(春・秋いずれかで3割の世帯から1人は参加してもらいたいという考えによる)
			根拠法令	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)										
			「環境美化の日」市内一斉美化清掃活動実施要領	「環境美化の日」市内一斉美化清掃活動事業		8,771千円	7,907千円								R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
			事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	実績								49,762人	40,040人	自治会・町内会未加入の問題や構成員の高齢化も原因の一つと考えられる。
			市民参加による市内全域での環境美化清掃活動を春、秋の年に2回実施することにより、快適な生活環境を確保する。	0.78人		1人	R5目標								R5実績		
				6,242千円		1人	50,346人								41,192人		
				R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合	①64.86t ②41,192人								R6目標		
期間		0.58人	1人	R6実績													
S57 ~		4,687千円	1人	50,755人													

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)															
					会計	投入コスト		活動実績(R5)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目															
						R4予算現額	R4決算額		項目名	指標名					目標設定の考え方・根拠														
444	環境 クリーン部	生活 環境課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	評価者	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに															
			重要	自治事務		12,750千円	11,874千円								①委嘱人数 ②事業参加延べ人数	環境推進員1人あたりの活動回数	環境推進員それぞれが2ヶ月に1度程度の活動を行うと期待したもの。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを										
			根拠法令	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)													R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析							
			所沢市環境推進員設置要綱	事業の目的及び具体的な内容		12,555千円	12,244千円																R5目標	R5実績	自治会・町内会の未選出問題や構成員の高齢化によるのも原因の一つと考えられる。				
			事業の目的及び具体的な内容	ごみ減量・リサイクル・および地域での環境美化を推進し、市民の環境保全に対する意識を高め、理解を深めることにより、健康で潤いのある生活環境を作る。		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合																			R6目標	R6実績		
			期間	H8 ~		0.80人	1人																					R6目標	R6実績
			6,402千円	6,061千円		0.75人	1人																						
			R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		1,056人	4,487人																						
			R5予算現額	R5決算額(見込み)		1,206千円	690千円																						
			重要	自治事務		1,222千円	937千円																						
根拠法令	根拠法令	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合																										
所沢市あき地の雑草除去に関する条例	事業の目的及び具体的な内容	1,72人	1人																										
あき地の雑草除去指導事業	あき地が適正に管理されずに雑草が繁茂すると、火災、犯罪の発生、害虫の発生、ゴミの不法投棄などの原因になることから定期的にあき地の雑草繁茂状況を調査し、繁茂状況により土地の所有者(管理者)に対し、雑草の除去を行うよう指導する。	13,763千円	87.3%																										
期間	S44 ~	1,72人	1人																										
13,899千円		100.0%	78.7%																										
R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	79箇所	87.3%																										
R5予算現額	R5決算額(見込み)	69箇所																											
重要	自治事務	19,154千円	13,386千円																										
根拠法令	根拠法令	15,444千円	14,768千円																										
所沢市一般家庭生活廃水くみ取りに関する条例	事業の目的及び具体的な内容	0.41人	0人																										
一般家庭生活廃水くみ取り事業	下水道未整備地区で生活廃水の吸込槽が機能低下によりあふれてしまうことを防ぐため、たまった生活廃水のくみ取りを行うことにより、周辺の衛生的な生活環境を保持する。	3,281千円	100.0%																										
期間	S46 ~	0.46人	0人																										
3,717千円		100.0%	100.0%																										
R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	750件	100.0%																										
R5予算現額	R5決算額(見込み)	1,710,480円	1,026,288円																										
重要	自治事務																												
根拠法令	根拠法令																												
所沢市一般家庭生活廃水くみ取りに関する条例	事業の目的及び具体的な内容																												
一般家庭生活廃水くみ取り事業	下水道未整備地区で生活廃水の吸込槽が機能低下によりあふれてしまうことを防ぐため、たまった生活廃水のくみ取りを行うことにより、周辺の衛生的な生活環境を保持する。																												
期間	S46 ~																												

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)								
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目									
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4目標					R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析							
444	環境 クリーン部	生活 環境課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	所沢狂犬病予防協会や市内動物病院と連携して集合狂犬病予防注射や注射済票仮交付を行い、犬の飼い方教室の開催や広報による啓発活動などの実施により、ある程度の結果は残せたが、7割の接種率だったため。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を										
			重要	自治事務		R4 4,446千円	R4 4,229千円						①新規登録枚数 ②登録頭数 ③注射済票交付枚数		狂犬病予防注射接種率	狂犬病予防法に犬の所有者は狂犬病予防注射を毎年1回受けさせなければならないとなっている。	年2回ある犬の飼い方教室の講師や講演内容を、第1回と第2回をで変更し、狂犬病のみならず、マナーや災害についても広く啓発できるようにした。また、前年度に引き続きキャッシュレス決済を案内し、支払いについて柔軟に対応できるようにした。							
			根拠法令	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)										R5 4,691千円	R5 4,262千円	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析			
			犬の登録・狂犬病予防注射管理事業	事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合										1.13人	会年職員等				1人	実績	100.0%
			期間	H12 ~		狂犬病予防法に基づき、狂犬病の発生、蔓延を防ぐため、市内で飼育されている犬の情報を登録し、狂犬病の接種状況を管理する。犬の鑑札および注射済票の交付を行うとともに、所沢狂犬病予防協会や市内動物病院と連携して集合狂犬病予防注射や注射済票仮交付を行うことで、予防注射接種率の向上を図っている。	R5正規職員人件費						R5その他職員従事割合		9,042千円	会年職員等	1人	実績	100.0%	75.2%	犬の死亡届の未提出や、狂犬病予防注射を摂取しても注射済票の交付手続きを行わない飼い主がいるため、制度の周知・啓発活動が必要である。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
							R5正規職員人件費						R5その他職員従事割合		1.13人	会年職員等	1人	①1,149枚 ②14,856頭 ③11,180枚	R6目標	100.0%		接種率の向上及び飼い主のマナー向上について、より効果がある方法を研究する。	狂犬病の発生を防止した。	
							R4正規職員人件費						R4その他職員従事割合		9,132千円	会年職員等	1人		R6実績					
444	環境 クリーン部	生活 環境課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	概ね条例の内容は周知され、喫煙者のマナーも向上していると考えられるため。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を										
			重要	自治事務		R4 4,484千円	R4 4,557千円						①駅前キャンペーン実施箇所 ②路面シートの貼付枚数 ③歩きたばこ等防止パトロール実施回数		市内4カ所(主な駅前)の平均路上歩行者喫煙率(成人歩行者に対する歩行者喫煙者の割合)	条例を周知し、遵守することで危険、迷惑な歩きたばこや路上喫煙行為をなくすため、違反者が0パーセントであることを目標とする。	令和6年3月に東所沢駅付近の指定喫煙所にパーテーションを設けた。							
			根拠法令	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)										R5 1,831千円	R5 1,923千円	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析			
			歩きたばこ等防止啓発事業	事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合										1.21人	会年職員等				1人	実績	0.0%
			期間	H18 ~		危険、迷惑な歩きたばこ、ポイ捨てをなくし、喫煙者のマナー向上を図るため、キャンペーン、パトロール等による条例の周知啓発活動を実施するとともに、喫煙禁止地区での禁煙を徹底するため、路上喫煙禁止地区内の路面シートの貼付や指定喫煙所の維持管理を行う。	R5正規職員人件費						R5その他職員従事割合		9,682千円	会年職員等	1人	①0回 ②64枚 ③12回	R5目標	0.0%	0.04%	条例施行前は、2.19パーセントであった歩行者喫煙率が令和5年度も0.04パーセントと低い数値が表れている。しかし、未だにマナーを守れない一定の喫煙者が見受けられる。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
							R4正規職員人件費						R4その他職員従事割合		0.83人	会年職員等	1人		R6目標			受動喫煙にも配慮し、パトロール等で条例周知啓発に努めた。		
							R5正規職員人件費						R5その他職員従事割合		6,707千円	会年職員等	1人		R6実績	0.0%				
445	環境 クリーン部	環境 対策課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	毎年、成果指標の目標値を達成しているため。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を										
			重要	法定受託事務		R4 2,267千円	R4 2,042千円						①調査検体数 ②調査計画検体数		調査実施率(有効調査検体数/調査計画検体数×100)	埼玉県の実施計画で、大気：3地点を4回/年、河川水・底質：各2地点を1回/年、土壌：2地点を1回/年、地下水：1地点を1回/年の年19検体が測定数として定められているため、すべての項目を市で実施することを目標として設定している。	迅速に調査を進めるため、土壌調査を実施する前に採取地点の図面や写真を委託業者に情報提供した。							
			根拠法令	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)										R5 2,328千円	R5 2,149千円	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析			
			ダイオキシン類対策特別措置法	事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合										0.34人	会年職員等				0人	実績	100.0%
			期間	H9 ~		大気については埼玉県が定めたダイオキシン類大気常時監視実施計画に基づき、河川水についてはダイオキシン類対策特別措置法に基づく常時監視(公共用水域)実施計画に基づき、また、土壌・地下水については地下水質測定計画に基づき、ダイオキシン類に係る環境調査を行う。また、ダイオキシン類による大気・水質・土壌等の汚染状況を常時監視し、ダイオキシン類による汚染対策に係る施策の基礎資料とする。	R5正規職員人件費						R5その他職員従事割合		2,721千円	会年職員等	0人	①19検体 ②19検体	R5目標	100.0%	100.0%	目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
							R4正規職員人件費						R4その他職員従事割合		0.30人	会年職員等	0人		R6目標			引き続き定められた測定の精度を維持し、今後も常時監視を継続する。		
							R5正規職員人件費						R5その他職員従事割合		2,424千円	会年職員等	0人		R6実績					

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費		成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)													
					会計	投入コスト		活動実績(R5)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目												
						R4予算現額	R4決算額		項目名	指標名					目標設定の考え方・根拠											
445	環境クリーン部	環境対策課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		総合評価	評価理由	現状の課題	SDGsへの貢献(最大3つ)										
			重要	自治事務		134千円	158千円										①継続的な空間放射線量測定	調査実施率 (測定数/調査数×100)	市民生活における空間放射線の影響の確認のため市内10地点での測定に係る実施率を指標とする。	A	成果指標の目標値を達成しているため、一定の成果を上げられていると考える。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを			
			根拠法令			R5予算現額	R5決算額(見込み)																	②除染土壌仮保管場所定期測定	R4目標	R4実績
			期間	事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合										③測定結果公表								事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
			H23 ~	市内の放射線量を定期的に測定し、その結果等の情報を市民に公表するとともに、市民への測定器貸出や相談などの対応を行う。また、放射線に係る環境汚染の実態を継続的に把握することで、市民の不安を軽減するための根拠資料とする。		0.59人	会年職員等 0.15人										実績	100.0%	100.0%					目標達成済	どのように貢献したか	
						4,721千円											①市内10地点での測定回数 1地点・1回/3ヶ月	100.0%	100.0%							市による定期測定を継続し、その結果を公表することで、市民の安全安心の確保に努める。また、点検、校正を行った測定器の貸出を継続する。
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合										②保管場所×2回/年									
						0.71人	会年職員等 0.15人										③市ホームページ、各まちづくりセンターにポスター掲示	100.0%								
						5,738千円																			環境対策課長 三浦 直子	